

平成 26 年 11 月 26 日

【照会先】

徳島労働局職業安定部職業安定課  
課長 森 敏弘  
課長補佐 山田 真司  
地方職業指導官 西村 勉  
(電話番号) 088-611-5383

報道関係者 各位

平成26年度新規高等学校卒業予定者等の就職内定状況等を取りまとめ  
【平成26年10月末現在】

徳島新卒者等就職・採用応援本部（本部長 樋野浩平徳島労働局長）は、平成27年3月新規学校卒業予定者の求人・求職・就職内定状況（平成26年10月末現在）（速報値）を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

～新規高卒就職内定率は76.3%と前年同期を6.2ポイント上回る～

～新規大卒就職内定率は44.4%と前年同期を3.5ポイント上回る～

I 新規高等学校卒業予定者

1 就職内定状況について

- (1) 求職者(就職希望者数)は1,464人、前年同期(1,468人)に比べ4人(0.3%)減少した。
- (2) 就職内定者は1,117人、前年同期(1,029人)に比べ88人(8.6%)増加した。
- (3) 就職内定率は76.3%、前年同期(70.1%)を6.2ポイント上回った。

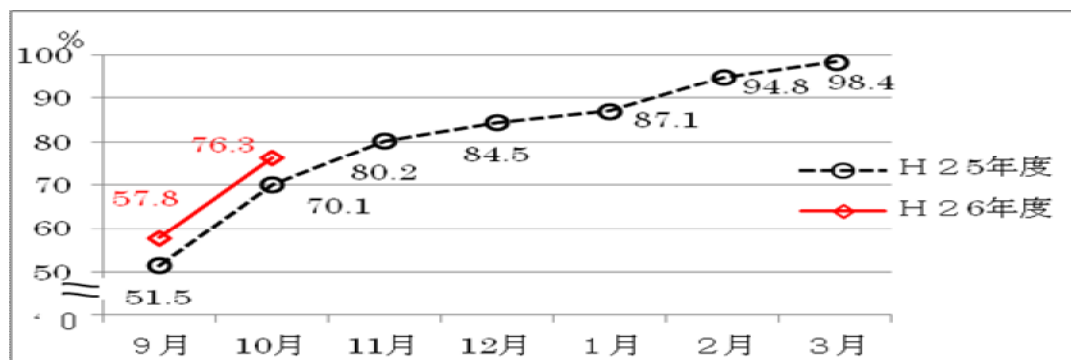
平成26年度

$$\frac{1,117 \text{人 (就職内定者数)}}{1,464 \text{人 (就職希望者数)}} = 76.3\%$$

平成25年度

$$\frac{1,029 \text{人 (就職内定者数)}}{1,468 \text{人 (就職希望者数)}} = 70.1\%$$

※学校または安定所を通じた就職を希望する生徒の状況の集計



## 2 求人の状況について

県内の安定所で受理した求人数は1,643人で、前年同期(1,324人)に比べて319人(24.1%)増加した。

## 3 県内就職希望者数の状況について

(1) 県内就職希望者は1,117人、前年同期(1,142人)に比べ25人(2.2%)減少した。

(2) 県内就職内定者は810人、前年同期(741人)に比べ69人(9.3%)増加した。

(3) 県内就職内定率は72.5%、前年同期(64.9%)を7.6ポイント上回った。

## II 新規大学卒業予定者

### 1 就職内定状況(届出済分)について

(1) 求職者(就職希望者)は2,149人、前年同期(2,184人)に比べて、35人(1.6%)減少した。

(2) 就職内定者は954人、前年同期(894人)に比べて、60人(6.7%)増加した。

(3) 就職内定率は44.4%、前年同期(40.9%)を3.5ポイント上回った。

※本調査は、徳島労働局管内の各ハローワークが、未内定学生への就職支援のために、学校が既に把握している範囲での内定状況等を報告していただいた数の集計であり、内定を受けていても学校に届出していない学生は未内定として計上されます。文部科学省と厚生労働省が、共同で調査して公表している全国の数値と直接比較できるものではありません。

## 2 求人の状況について

県内・外の事業所から大学に提出された求人数は229,377人で前年同期(229,386人)に比べ、9人減少した。

### 《就職支援の取組》

新規高卒就職内定率は、前年同期と比べ6.2ポイント上回っており、求人数の増加が大きな要因と考えられるが、職种的にはバラツキが生じている。今年度も県内への就職希望者は8割近くを占め、消費税増加に伴う反動の影響等もあり、厳しい就職環境が予想されるところです。

大卒就職内定率は、前年同期を3.5ポイント上回っているものの、就職希望者の6割弱が未内定者となっており、引き続き厳しい状況が予想されるところです。

徳島労働局におきましては、各学校と連携を保ちながら未内定生徒を把握したうえで、ジョブサポーターによる求人開拓、個別面接、並びに就職面接会等の開催により卒業までに未内定者ゼロの実現に向け全力で取組んでまいります。

また、10月31日(金)に開催した徳島新卒者等就職・採用応援本部第2回会合での「新卒応援宣言」をもとに、産・学・官が連携し、将来ある新卒者の就職の実現に取り組んでまいります。